

共同研究支援報告書

氏名	海地 伊沙名
所属大学名	千葉大学子どものこころの発達教育研究センター
職位	特任研究員
研究題目	ブラジルのペロタス地域の小学校における子どものレジリエンス向上を目指した認知行動療法(CBT)プログラムの実施可能性と効果の検証
短期支援(1年)	
長期支援(3年)——年目	
本年度の内容報告	本年度は、ブラジルの小学校にてプログラムを実施する予定であった。しかし、ペロタス市における洪水災害や学校や交通機関などの大規模なストライキにより、実施が困難となった。そこで、来年度よりプログラムを実施する準備を、共同研究をしているペロタス大学の研究チームとともにに行った。具体的には、ランダム化の手順の確認、指導者となる心理士や心理学生に向けた研修会について検討を行った。また、本国際共同研究がきっかけとなり、ペロタス大学と共同で国際集会（I CONIBRA）を開催した。2024年度はペロタス大学にて実施し、本研究をブラジルの子どもに関わる学生や教員、研究者に向けて発表した。I CONIBRA開催期間中に、ペロタス市内の小学校や医療機関を訪問し、ブラジルの子どもたちの生活に触れ、本プログラムをより効果的に子どもたちに提供するための方法を再検討する機会となった。さらに、本研究内容を2025年5月に開催されるメキシコの認知行動療法学会で発表するために、ペロタス大学の研究チームと準備を進めている。
成果(論文発表等)	Isana Kaichi, Tomoko Kawasaki, Mariana Gouvêa Silveira, Yoshikazu Noda, Sho Okawa, Maria Teresa Duarte Nogueira, Yoshiyuki Hirano. Verification of the effectiveness of a cognitive behavioral therapy program “Resilience World Adventure” for Brazilian children. I CONIBRA (1st JAPANESE-BRAZILIAN CONGRESS ON CHILD AND ADOLESCENT EMOTIONAL DEVELOPMENT) , 2024
備考	